

Apple Watch 9

1. Apple Watch 7から9に買い替え
2. ハード
3. Siri
4. 充電
5. ダブルタップ
6. 磁気充電ケーブル 4種類



1. Apple Watch 7から9に買い替え

本体は何でも合うシルバー
バンドは水泳に向いていて、
汗かいても通気性の良いスポーツバンド

ラバー

Nikeスポーツバンド

圧縮成形された通気穴で通気性を確保して作られたNikeスポーツバンドは、耐久性が高く、強靱。それなのに驚くほどソフト。カラフルなフレックがランダムなパターンを生み出し、一本一本に際立った個性を与えています。柔軟で高密度な素材があなたの手首を上品に包み込み、快適に肌になじみます。新しいアルミニウムのバックルは、ピンをはめ込むデザイン。ピンにはフレッシュなマット仕上げが施されています。



Apple Watch Series 9 (GPSモデル) - 45mmシルバーアルミニウムケースとカーゴカーキNikeスポーツバンド - S/M

S/M

バンドは手首が140-190mmの方にフィットします。

162mmなのでS/M

M/L

バンドは手首が160-210mmの方にフィットします。

2. ハード

Apple Watch Series 9を、より高性能に、より直感的に、より高速に。S8チップと比べて、60%も多い56億個のトランジスタを詰め込んだ新しいデュアルコアCPU。機械学習のタスクを最大2倍速くこなす新しい4コアのNeural Engine。新しいダブルタップのジェスチャーなど多くの革新的な機能が使えるのも、カスタムAppleシリコンのおかげです。

Series 9の先進的なディスプレイシステムの最大輝度が2,000ニトに向上。これは、Series 8の2倍の明るさです。太陽の下では、くっきり見やすく。でも、映画館などの暗い場所では、1ニトまで輝度が下がるので一段と使いやすく。

超広帯域無線チップ(UWB)チップで、iPhone 15の正確な位置が分かり、HomePodの4m以内は自動的にディスプレイに表示

新たな心臓部、S9 SiP (System in Package) が搭載された。これにより処理性能と省電力性が向上し、グラフィックス性能を30%高め、これまで2つだった機械学習コアを4つに増加させている。

WEB記事ではアップデートが1.4倍早く終わった

懐中電灯はデジタルクラウンを回すことで明るさを調整できるし、左右にフリックすることで、点滅にしたり、色を赤にしたりすることもできる。非常用に覚えておきたい機能



3. Siri

知りたいこと、Siriで知ろう。Series 9では、Siriへのリクエストはすべてあなたのデバイス上で処理されます。だから、より速く、より安全にSiriに頼めるようになりました。さらに、Siriの音声入力の精度がこれまでよりも最大25%アップします。

クラウドからデバイス上変わったので、iPhoneペアリングやWi-Fiが無くてもタイマー10分等出来るようになった

健康に関するリクエストは来年

The logo consists of the text "Siri + Health" in a sans-serif font. "Siri" is in a light purple color, "+ Health" is in a light blue color, and the "+" sign is in a light green color. The text is centered on a solid black rectangular background.

Siri + Health

4. 充電

S9は、A16 Bionicで用いられた5nm+の効率コアCPUに搭載している。微細化が進むことによって、処理性能向上と省電力化のメリットが得られる。スマートウォッチの場合はバッテリーに限られるため、より小さな電力で性能を発揮するよう調整することで、S8より**25%**電力消費を抑えることに成功

Apple Watch Series 9のバッテリー持続時間は18時間のままだが、実際にデータを取ると25%ぐらい長く使えた

5. ダブルタップ

Apple Watch 9を手首に装着した側の手で、親指とその他いずれかの指を2回、重ね合わせるようにタップするジェスチャー動作鳴り始めたタイマーを止める、電話に出る、電話を切る、音楽の再生をする、再生を止めるなどその時点で最優先に表示されているタスクの、一番大きなアイコンになっている動作を行える。

文字盤が出ている時にダブルタップをすると、スマートスタックが表示され、ダブルタップをするたびにスマートスタックをめくっていくことができる。

制限 手をつまんだり握りしめたりしてApple Watchを操作する「[AssistiveTouch](#)」機能と同時には使えない。
ランニングやワークアウトの最中は多くの揺れや手の動きがあり血流も速くなっているから使うのが難しい

ダブルタップが便利だと感じたのは、[「HomePod mini」](#)で音楽を再生・停止するときと、タイマーを使うとき。

Apple Watchを顔に向けて画面見ないと駄目

シアターモード中は使えない



将来はタップの回数を増やしたり、リズムを変えてマルチタップに対応することも技術的には可能

6. 磁気充電ケーブル 4種類

買取前で全て揃ったので写真に残した



Apple Watch 9 Type-C 高速充電 丈夫な編み込み式のケーブル

Apple Watch 7 Type-C 高速充電

Apple Watch SE Type-C 高速充電でない

Apple Watch 6 Type-A 高速充電でない